

賛助会員

有限会社浜野顕微鏡 (〒113-0033 東京都文京区本郷 5-25-18)

神協産業株式会社 (〒742-1502 山口県熊毛郡田布施町波野 962-1)

理研食品株式会社 (〒985-8540 宮城県多賀城市宮内 2-5-60)

共和コンクリート工業株式会社 (〒060-0808 北海道札幌市北区北 8 条西 3 丁目 28 札幌エルプラザ 11 階)

(株) KANSO テクノス (〒541-0052 大阪府大阪市中央区安土町 1-3-5)

(株) 日本港湾コンサルタント (〒141-0031 東京都品川区西五反田 8 丁目 3 番 6 号)

日本藻類学会和文誌「藻類」では広告を募集中です。詳細は編集委員会委員長までお問い合わせください。

皆様のご投稿をお待ちしています

和文誌「藻類」は会員の皆様の原稿で成り立っている雑誌です。原著論文のみならず、総説やミニレビュー、学術資料、その他の記事のご投稿もお待ちしています。ご投稿に際しましては、第 69 巻 2 号の p.133-136 に掲載された新しい投稿規定、執筆要項、投稿票、別刷・カラー印刷等申込書をご覧ください。新しい投稿区分、カラー印刷料金や別刷料金と、投稿者が査読候補者を指名し、希望する論文通信担当編集委員に投稿できるなどの審査体制が示されております。投稿規定、執筆要項、投稿票については日本藻類学会の Web サイトからもダウンロードできます。(編)

訃報

前山形大学教授で元本会会員の高橋永治氏が 2022 年 1 月 17 日に、長崎大学名誉教授で本会会員の右田清治氏が 2021 年 3 月 2 日に、鹿児島大学名誉教授で元本会会員の野澤治治氏が 2021 年 11 月 22 日に逝去されました。謹んで哀悼の意を表します。
日本藻類学会

編集後記

新型コロナウイルスの変異株が次々と誕生し、感染症騒動が収まる気配がありません。講義もオンラインに切り替わり、学生が聞いているのか聞いていないのか、問いかけにも反応は鈍く、まるで壁に向かって話しかけている切なさを感じている今日この頃です。小学生の愚息は分散登校で週に 2 日しか学校に行けないことを、逆に喜んでいる気配がありますが、妻

は愚息の相手や昼食の準備に追われ、研究や編集にまで手が回らなくなりつつあります。その後、編集後記を書いている 1 月 31 日現在でも、和文誌編集委員長の立候補に関するお問合せが、全くありません。学会誌を編集するのはやりがいのある、貴重な経験だと思います。是非、我こそはと思って、ご連絡ください。

(芹澤 如比古)

表紙 スピノサウルスの足元に広がる藻場

制作者：福井県立大学 大学院生

制作者より：福井県は恐竜化石の一大産地であるほか、おいしい海産物でも有名です。大会ロゴはこれらの要素を盛り込み、福井県で産出したこともあるスピノサウルスの足元に、水圏の生物生産の基礎となる藻場が広がっている様子を表現しています。